



2022年11月22日

各 位

会社名 東宝株式会社
代表者名 代表取締役社長 松岡宏泰
(コード番号 9602 東証プライム市場、福岡)
問合せ先 上席執行役員
コーポレート本部経営企画担当 本多太郎
(TEL. 03-3591-1217)

当社連結子会社である株式会社東京現像所の事業終了に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、当社の連結子会社である株式会社東京現像所（以下「東京現像所」といいます。）の事業を終了することについて決議しましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 目的と概要

当社の連結子会社である東京現像所は、フィルム現像、デジタル技術を用いた映像の合成・編集、劇場上映用デジタルデータ（デジタルシネマパッケージ＝DCP）の制作、映像アーカイブ（旧作映画の保存・修復）等の映像関連サービスを行っております。

一方、当社は本年9月、株式会社IMAGICA エンタテインメントメディアサービス（本社：東京都港区、代表取締役社長：中村昌志）との間で、DCPの劇場向けデリバリーサービスを行い、将来においては物理的なデリバリーサービスからデジタル配信サービスの提供を目指す新会社を共同で設立することについて合意いたしました。また、この合意を受けて、東京現像所においては、同社が行っているDCP事業について、2023年3月31日をもって終了することを決定いたしました。

東京現像所については、DCP事業の終了によって大きな業績影響を受けることが予想されることから、今後の方向性について抜本的な検討を行ってまいりましたが、DCP事業以外の残存事業のみで当社が持続的に安定した経営を行っていくことは困難であると判断し、この度、2023年11月30日（予定）をもって同社の全事業を終了することといたしました。

なお、東京現像所が行っているDI（Digital Intermediate＝デジタルによる映画の色彩等の調整）事業及びアニメ・テレビ作品の編集事業については、当社連結子会社であるTOHOスタジオ株式会社（本社：東京都世田谷区、代表取締役社長：島田充）がサービスを引き継ぐ予定です。また、同じく東京現像所が行っている映像デジタルアーカイブ事業については、これを事業目的とする新会社を設立し、サービスを引き継ぐ予定です。

これらにより、当社グループの映像関連サービス事業を東京都世田谷区成城の「東宝スタジオ」に集約し、デジタル技術の発展に対応したより良い映像制作環境の提供に努めてまいります。

2. 事業を終了する子会社の概要

(1) 商号	株式会社東京現像所
(2) 所在地	東京都調布市富士見町二丁目 13 番地
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役社長 矢部勝
(4) 事業内容	フィルムの現像、映像の制作・編集
(5) 資本金	1,000 万円
(6) 設立年月日	1955 年 4 月 22 日
(7) 大株主及び持株比率	東宝株式会社 89.5%

3. 今後の見通し

東京現像所の事業終了による当期の通期連結業績への影響は軽微な見込みですが、現在精査中です。今後、開示すべき事項が発生した場合は速やかに開示いたします。

以 上